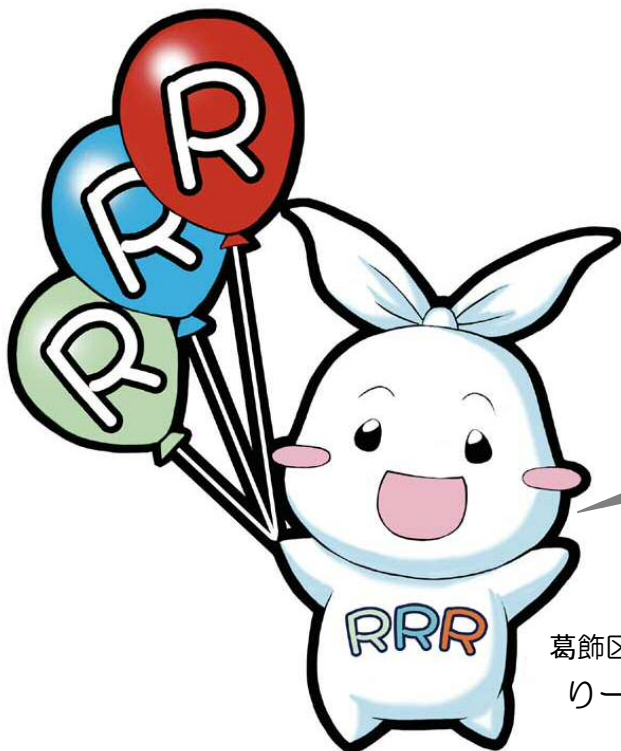


脱「使い捨て」で ごみ減量！ リユース食器を使用しませんか？



イベントなどから出る
「ごみ」のほとんどは、
使い捨て容器です。
繰り返し使える
『リユース食器』で
ごみ減量しませんか？

葛飾区ごみ減量・3R推進キャラクター
りー（Ree）ちゃん

多くの人が集まり、様々な企画が催されるイベントでは、たくさんの「ごみ」が出ます。その「ごみ」のほとんどは、飲食時に使用した使い捨ての容器です。

くり返し洗って使う「リユース食器」は、イベントで出る「ごみ」を大幅に減らすことができます。

イベント主催者の皆さんが積極的に環境対策を行うことで、「ごみ」が減るばかりでなく、来場された方、一人ひとりが「ごみ」について考えるきっかけづくりにもなります。

そのため、区では、限りある資源を大切に、ごみ減量による循環型社会を構築するために、各種団体が主催するイベントの開催にあたり「リユース食器」を使用した際の費用の一部を補助します。

< 目次 >

概要	2
計画をたてよう	3
導入が決まったら	5

参考資料	7
Q&A	8
問い合わせ先	8

概要

対象

区内の自治町会・学校・NPO等の組織する団体等が開催するイベント（不特定多数の参加が見込まれる催し、講演会、研修会等）で、洗って繰り返し使うことのできる飲食容器（リユース食器）を使用して延べ100個以上の飲食物を提供するイベント
出店者が申請する場合は、事前に主催者の了承を得てください。

内容

NPO 法人などで貸出をしているリユース食器を使用して、地域のイベントを実施した際、リユース食器借用に係る費用の2分の1（限度額2万円）を補助します。

ただし、主催者の過失による紛失や破損による弁償額は補助対象となりません。

※区では、直接、リユース食器を貸し出ししません。NPO 法人などのリユース食器を貸出している団体で借用してください。

申込方法

①申請書の提出（イベント実施2週間前まで）

補助金交付申請書、事業計画書、リユース食器借用見積もりの写しを提出してください。

②区で審査、適否決定

③イベント等の開催

（リユース食器は、イベント主催者が直接、貸出団体に申し込みをしてください。）

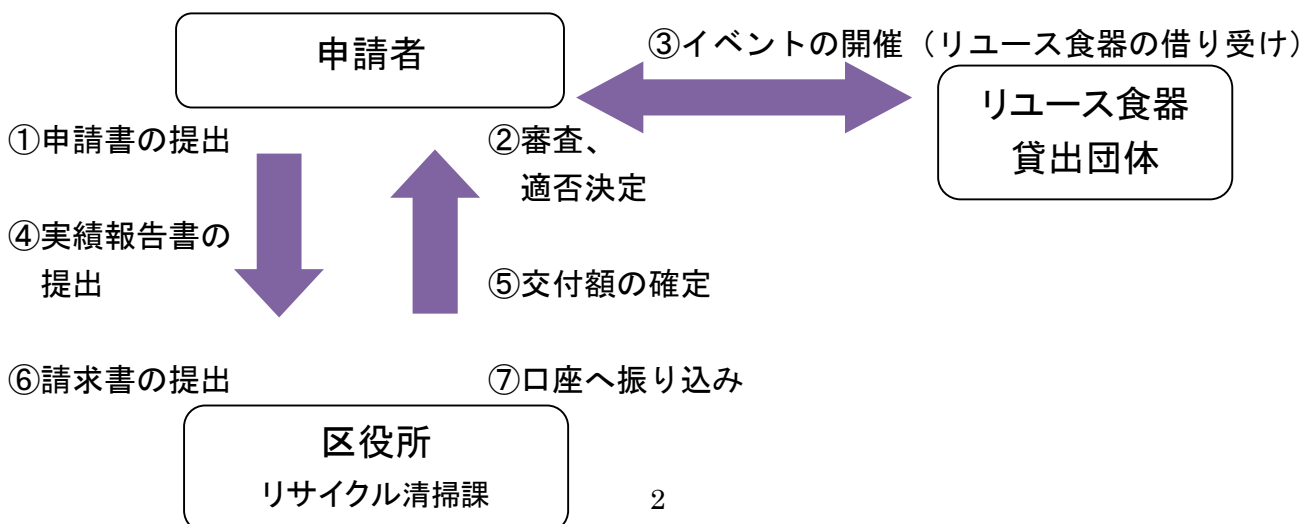
④実績報告書の提出（イベント終了後3週間以内を目安に）

リユース食器を借用したことがわかる請求書か領収書の写しも必要です。

⑤交付額の確定

⑥請求書の提出（振込先口座の指定）

⑦口座へ振り込み



計画をたてよう

まずは、意識共有

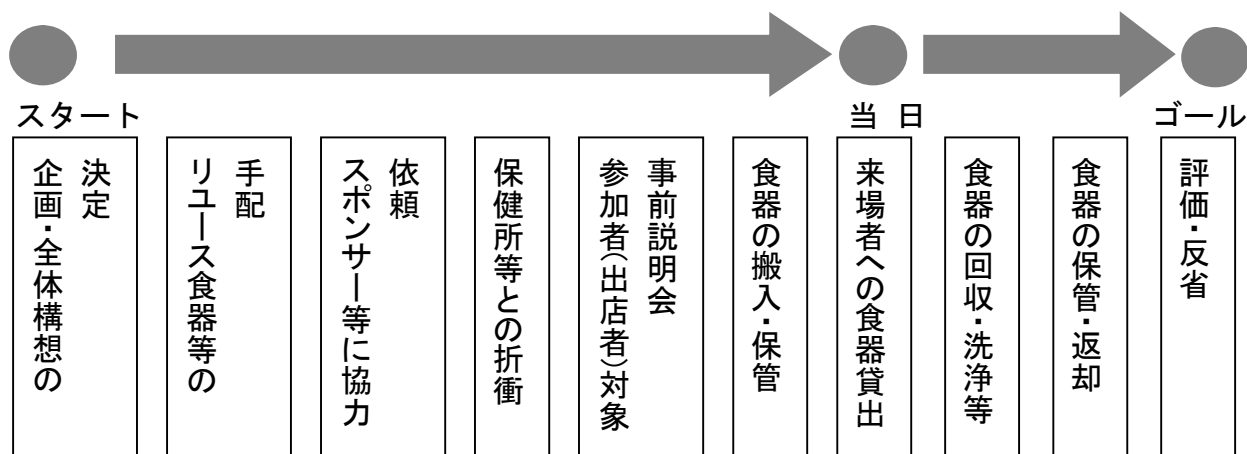
イベント参加者(模擬店出店者)に「リユース食器」を使用することを働きかけましょう。参加者全員の協力が必要になりますので、意識共有はしっかり行いましょう。

◆責任者の設定

イベントの実行委員長とは別に、リユース食器導入に関するスケジュールを組み、関係者(運営・出店者・ボランティア等)との調整をするリユース食器実施の責任者を決めましょう。

◆スケジュールの設定

リユース食器を導入するには、計画から実施までに関係者との調整や人の手配など、早め早めの準備が肝心です。また、リユース食器を借用するのに、夏から秋にかけては、かなり先まで予約でいっぱいということもあります。



借りる前に決めること

◆どの団体から借りるか？

団体によって、使用后、洗って返却するか軽く汚れをふき取って返却するなど、条件が違います。洗う手間や洗浄能力の有無など、各団体の状況に応じて決めましょう。

※近郊の貸出団体は7ページに掲載しています。

◆どの種類のリユース食器を使うか？

平皿、お椀、カップなど、飲食物の内容によって、決めましょう。

◆どのくらい借りるか？

昨年の実績などをもとに数量を決めましょう。

イベントでの実施方法

リユース食器を全部の模擬店で実施する場合と、一部の模擬店で実施することもできますが、一部の模擬店で実施する場合、他と場所を区切るなど工夫が必要です。

◆リユース食器の貸出場所は？

(A) 貸出所のみで貸し出す

良い点：管理が楽です。

注意点：食器を借りずに模擬店に並んでしまった人は、もう一度貸出所に並ばなければならず、混乱しやすいです。また、貸出所に並んでから模擬店に並ぶ2度手間になります。

(B) 貸出所と模擬店で貸し出す

良い点：貸出所に並ばなくてもいいので、来場者の混乱は少ないです。

注意点：模擬店で食器を管理するため、主催者から模擬店への食器の流れをスムーズにしないと、お店によっては不足したり、余ったりすることがあります。

(C) 模擬店のみで貸し出す

良い点：来場者の混乱はありません。

注意点：主催者から模擬店に食器を渡す必要があります。お店によっては不足したり、余ってしまうこともあります。

◆リユース食器の回収場所は？

(A) 回収所で回収する

良い点：回収所が一か所なので、流れはスムーズです。

注意点：来場者が皿をごみとして捨てないように回収所を目立たせましょう。

(B) 模擬店で回収する

良い点：来場者は食べた場所に返却なので、手間は少ないです。

注意点：模擬店の手間が増えます。皿をごみとして捨てないように注意が必要です。

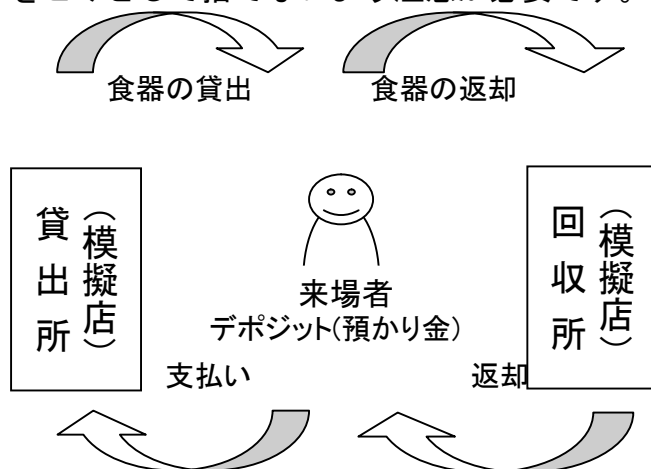
◆デポジットは？

「デポジット」は、食器を貸す際に、一定の金額(100円などのワンコインが良い)を預かり、食器の返却時に預かったお金を返す制度です。

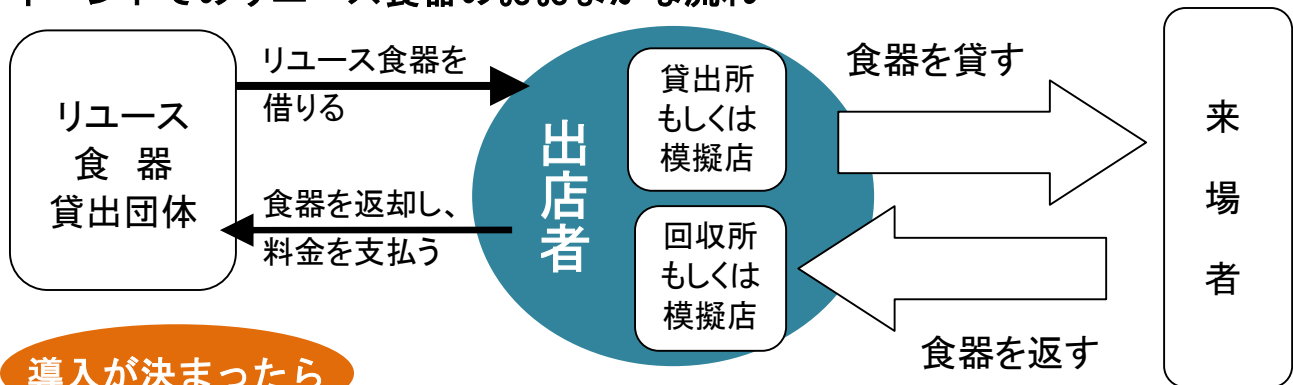
デポジット金が返却の動機となり高い回収率が期待できます。

また、食器の紛失・破損の際の弁償金としても利用できます。

デポジット制をとりいれる場合、お金のやりとりの流れを作る必要があります。



イベントでのリユース食器のおおまかな流れ



導入が決まったら

◆保健所に届け出を！

イベントで飲食物を取り扱う際、保健所への届け出が必要です。その際、リユース食器を使用することをきちんと説明しておきましょう。

◆見積もりをとりましょう

食器洗浄を行わず返却する場合、リユース食器1枚あたり25円程度かかります。そのほか、送料もかかります。さらに食器を紛失・破損した場合の弁償金も考えましょう。

また、食べ残しを入れるザルやバケツ、看板なども貸出してくれる団体もあります。

◆PRをしましょう

チラシやポスターを作成する際には、リユース食器をアピールしましょう。

当日も、パンフレットや看板・場内放送のアナウンスなどで来場者に周知することで、混乱を防げます。

◆ボランティアを集めましょう

貸出(お皿を渡し、デポジット金を受け取る)として常時1人、回収として常時2人(お皿を受け取り、デポジット金を返す人、お皿をコンテナにしまい枚数を管理する人)は最低必要です。余裕をもって運営するなら常時6~10人くらいいるといいでしょう。貸出・回収方法、規模や数により、必要な人数も異なります。

なお、デポジット金の管理がボランティアスタッフの責任の範囲を超えると考える場合は、運営スタッフを増員しなければなりません。

◆備品の準備

食べ残しを入れるザルとバケツ、看板、デポジット金用の小銭、作業内容の説明など、食器以外に必要なものを用意します。看板やバケツなど、リユース食器の貸出団体から借りられるものもあります。

実施するときには

◆回収所が目立つことが重要

回収率向上のためには、リユース食器の置き去りやごみ箱への混入を防ぐために回収所を目立たせることです。回収所の案内看板などが、周りの状況に比べて目立つものとなっているか、現地に設置した段階で確かめましょう。

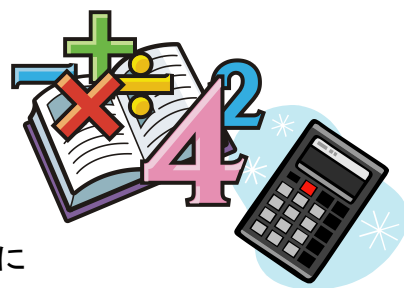
◆情報・知識の共有

リユース食器を利用することについて、関係者やボランティアに対して周知・徹底しましょう。また、デポジット制度の場合、お客さんからデポジットの仕組みについて質問を受けることがあります。そうした場合に備え、スタッフの誰もが答えられるようにしておきましょう。

◆食器数の管理で効率化

リユース食器の回収後には数量管理が必要となってきますが、効率化することで作業を楽にできます。一目でカウントできるように仕切りをつけたコンテナに収納するなどの工夫があります。

また、リユース食器を管理する本部から各店舗に食器を供給する場合、貸出個数を120個や240個といった一定数に統一することで、食器数の管理を効率的に行うことができます。



イベントが終わったら

次回実施のための改善を検討しましょう。

◆来場者アンケートの実施

イベント来場者にアンケートを行い、利用した立場からの評価を受けることで、次回への反省点が把握できます。

◆評価の把握

来場者のアンケートのほかに運営した立場での評価をしましょう。回収率や費用の負担など、数値で評価できるものも把握し、関係者全体に発表し共有することで、改善点を話し合いすることができます。

また、コストを下げる方法についても議論してみましょう。



参考資料

リユース食器貸出団体

< 都内 >

◆NPO法人 社会資源再生協議会

中野区本町3-1-4 TEL: 03-3375-5306

<http://www.reusecup.jp/>

◆財団法人 地球・人間環境フォーラム

港区虎ノ門1-18-1 虎ノ門10森ビル5階 TEL: 03-3592-9735

<http://www.gef.or.jp/activity/life/reuse/index.html>

< 近県 >

◆ワーカーズコレクティブ風車

千葉県佐倉市稻荷台2-7-6 TEL: 043-461-5616

<http://homepage3.nifty.com/fuusha-sakura/index.html>

◆NPO法人 Wave よこはま

神奈川県横浜市青葉区鴨志田町564-1 TEL: 045-962-2020 (金子石油店内)

<http://reuse-wave.sakura.ne.jp/index.html>

◆NPO法人 スペースふう

山梨県南巨摩郡増穂町天神中条177 TEL: 0556-22-1150

<http://www.spacefuu.net/>

その他の団体については、

リユース食器ネットワークのホームページをご覧ください。

<http://www.reuse-network.jp/>

リユース食器の導入については、

環境省の「リユース食器を使ったエコイベント実践マニュアル」も参考にご覧ください。

<http://www.env.go.jp/recycle/report/h19-02/index.html>

Q & A

Q 1 補助金額の計算で端数が出た場合は、どうするのですか？

A 1 2分の1とし、端数を切り捨てた額が補助金額となります。

Q 2 食器の送料や食器以外のはしなどは対象となりますか？

A 2 送料やはし、スプーン、フォーク、ごみ入れ用バケツなども対象になります。ただし、食器を破損・紛失した場合の補償金は対象外ですので、ご注意ください。また、リユース食器導入のコーディネーター派遣も対象になりますが、補助限度額は2万円までとなります。

Q 3 イベントが雨などで中止になった場合には、どうなるのですか？

A 3 主催者の責によらずイベントが中止になり、リユース食器を使用しなくても、送料やレンタル料金が発生した場合には補助金を交付します。その場合にも補助金額は2分の1(限度額2万円)となります。

Q 4 食器は洗って返すのでしょうか？

A 4 扱っているところによって仕組みは様々ですが、多くはリユース食器がコンテナに入った状態で送られてきて、使用後はそのまま洗わずにコンテナに詰めて返送することになります。ただし、リユース食器に付着した残飯などは、古布などで簡単にぬぐうとよいでしょう。

Q 5 使用した食器をイベント会場内で洗って、繰り返し使えば、少ない食器数で実施できるのではないのでしょうか？

A 5 衛生上の問題から、イベント会場内で飲食容器を使いまわすことは、ご遠慮ください。

Q 6 同一団体の申請は、1年に何度もできるのですか？

A 6 イベントが違うものであれば、同年度内に3回まで申請いただくことが可能です。

Q 7 個人での申請も可能ですか？

A 7 団体が実施するものと規定しているため、申請も団体名でお願いします。また、入金先となる口座も申請者となる団体の名義の口座になります。

問い合わせ 葛飾区役所 環境部 リサイクル清掃課 ごみ減量推進係
電話番号 03-5654-8273(直通) 03-3695-1111(内線)3495~8